The best relationship

～最高の仲間たち～

第二学年通信　No 78



『人権週間』12,4～　Ｎｏ６

平成 30 年度 第38回全国中学生人権作文コンテスト中央大会



内閣総理大臣賞は、『学ぶことは生きること』

岡山県の中学二年生の作品で、道徳の時間に学習した(これから学習する)『夜間中学校』を題材にしたものです。

目を閉じて想像して欲しい。あなたは日本人で大人だと仮定しよう。家から一歩外に出ると，あなたは不安で落ち着かず，自信がなくなる。街を歩くと，目に入る看板や案内の文字が分からず，あれは何を意味しているのだろうと考える。そして、そんなことも分からない自分はクズだと思う。バスに乗っても「運賃」という漢字や行先を告げる文字が読めず，乗るのが怖くなる。自分はいつも不確かで分からないものに囲まれた世界で生きていると感じる。あなたは，なぜこんなに困っているのだろうか。

私は今年の夏休みに，岡山自主夜間中学へ学習ボランティアとして通った。先ほどの例は実際にここに通われているＡさんの話だ。・・・

現在，全国に公立夜間中学校が８都府県で３１校，ボランティア団体等が行う自主夜間中学校は１６都道府県で３７校ある。私がボランティアに通った岡山自主夜間中学には，10 代から 80 代までの５か国の生徒が約４０人通っている。・・・

ある日，私は自分の祖母よりも年上であるＢさんの分数の勉強を手伝った。・・・

・・・「**今日習ったことを忘れたくないから，宿題を出してください**。」

と言われたのだ。私は自分の耳を疑った。宿題は私の天敵である。・・・

Ｂさんをはじめ，**夜間中学に通う方たちの学びに対する情熱がまっすぐで，とてもまぶしかった**。そして多くの方は，この夜間中学へたどり着くまで「何のために学ぶのか」など考える余裕もないほど，ただ必死で生きてこられたことを思うと，自分がいかに恵まれていて甘えているのかを痛感した。・・・

私はこの夏，岡山自主夜間中学の皆さんに，学ぶことの意味を教えていただいたと思う。

第38回全国中学生人権作文コンテスト 兵庫県の部
中学2年生の優秀作品は 裏面に

『沖縄』を知ろう　Ｎｏ27

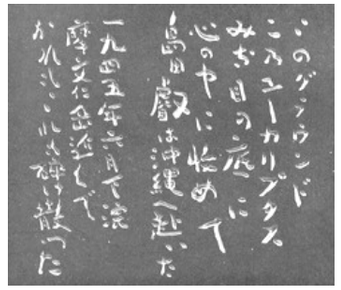
沖縄県民から慕われる兵庫県の島田 叡さん(9)

兵庫高校「合掌の碑」



一九六四年、神戸二中の後輩、竹中郁さんの詩をもって、**沖縄を向いて手を合わせたような形の「合掌の碑」**が建立されました。校庭のはずれには、校樹の**ユーカリ**がたっています。





このグラウンド
このユーカリプタス
みな目の底に
心の中に収めて
島田叡は 沖縄に赴いた
一九四五年六月下浣
摩文仁岳近くで
かれもこれも砕け散った



神　戸　新　聞
2013年(平成25年)6月23日　日曜日　14版 社　会 28

ドラマの一場面で、島田叡知事を演じる緒形直人さん（右）（ＴＢＳ提供）

神戸出身・戦時下の知事

島田叡氏の生涯 ドラマに

島田知事の後輩（兵庫高校卒業生）で
ＴＢＳ報道局制作プロデューサーの
藤原康延さんが
「島守」の 生きざま をドラマに・・・

「あれだけ『生きろ』と伝え、命を大切にした人。
きっと職務を全うしようとしていたはず。・・・
兵庫出身で、大勢の沖縄県民の命を救った島田知事の
ことを、多くの人に知ってもらえる作品にしたい」と。